

銘柄分析レポート：欲しい物リスト

1 はじめに

7組8名の達人投資家が紹介されている投資の名著『億万長者の黄金律』にて、4番目に登場するジョン・テンブルトンは「ほかの人々が落胆して売っているときに買い、ほかの人々が熱狂して買っているときに売る」をモットーとしていました。

明るい未来と優れた経営陣を有しているものの、株価が高くて買えない優良企業を、テンブルトンは“欲しい物リスト”にまとめている。

こうやってはやる気持ちを抑え、チャンスをじっと待ち構え、株式市場が大きく下落したとき、バーゲン価格の範囲内に入った“欲しい物”をいくつか買うのだ。

皆さんの中に「ここ数年の株価水準は高すぎると考え、投資資金を温存して、相場が大幅に下げるまでじっと待っている」私と同じ考えの方がいらっしゃれば、そろそろ“欲しい物リスト”の取りまとめにかかる時期です。

もし日経平均がさらに大きく下げるようなら、普段は株価が高くて買えない優良企業がバーゲン価格の範囲内に入ってくるかもしれないからです。

今回の銘柄分析レポートでは、個人的な“欲しい物リスト”に入れたいと思っている優良企業を取り上げます。

★日経平均 株価チャート

